

令和3年4月28日



## 令和3年度「日本博」採択事業決定

「日本博」は、国の関係府省庁、文化施設、地方自治体、民間団体等の関係者が連携し、日本が誇る様々な文化を四季折々、年間を通じ、多数のプログラムを通じて体系的に発信するプロジェクトです。

この度、令和3年度の「日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」の採択事業を取りまとめましたので、お知らせいたします。

令和3年度を「日本博」の本番年と位置付け、「日本の美」を体現する展覧会・舞台公演・文化芸術祭等を、全国各地で実施いたします。

各事業の会場では、新型コロナウイルス感染症に万全の対策を講じたうえで事業を実施いたします。各会場での事業実施とともに、国内外の多くの方々がオンライン上でも日本博を楽しむことができるよう、デジタルコンテンツの発信にも重点的に取り組んでおります。

### <採択件数>

- ◆主催・共催型プロジェクト 44件
- ◆イノベーション型プロジェクト 41件
- ◆文化資源活用推進事業 23件
- ◆国際的文化フェスティバル展開推進事業 2件
- ◆地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 26件

- ・主なラインナップ、採択一覧については、添付資料をご確認下さい。
- ・各事業の具体的な開催時期及び開催場所等については、日本博公式 Web サイトなどを通じて順次公表いたします。

※日本博公式 Web サイト (<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp/>)

※この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を受けて、各事業において、個別に臨時休館や、中止・延期等の対応をおこなう可能性がありますので、各事業の公式サイト等で最新情報のご確認をお願いいたします。

### 問い合わせ先

文化庁参事官（芸術文化担当）付  
新文化芸術創造活動推進室  
室長 廣野 宏正（内線 4831）  
プロジェクトマネージャー 小林 洋文（内線 3109）  
電話：03-5253-4111（代表） 03-6734-3109（直通）

報道関係各位

## 令和3年度日本博 採択事業決定



## 令和3年度の日本博事業の採択が決定しました

文化庁及び独立行政法人日本芸術文化振興会では「日本博」として日本が誇る様々な「日本の美」を体現した美術展・舞台芸術公演・文化芸術祭等を展開しています。

この度、令和3年度の「日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」の採択事業が決定いたしました。

- ◆ 主催・共催型プロジェクト 44件
- ◆ イノベーション型プロジェクト 41件
- ◆ 文化資源活用推進事業 23件
- ◆ 国際的文化フェスティバル展開推進事業 2件
- ◆ 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 26件

## 《日本博令和3年度の展開》

令和3年度を日本博の本番年と位置付け、「日本の美」を体現する展覧会・舞台公演・文化芸術祭等を、四季折々、年間を通じて、全国各地で実施いたします。

各事業の会場では、新型コロナウイルス感染症に万全の対策を講じたうえで事業を実施するとともに、国内外の多くの方々がオンライン上でも日本博を楽しむことができるよう、デジタルコンテンツの発信にも重点的に取り組めます。

日本博では、人と人をつないでいく文化芸術活動に対する支援とともに、日本博全体の情報発信を通じて、国内観光需要及び将来のインバウンド需要回復を目指して取り組んでまいります。

なお、各事業の具体的な開催時期及び場所等については、日本博公式Webサイトなどを通じて順次公表していきます。

# 主なラインナップ

## 特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」

＜東京国立博物館＞令和3年4月13日(火)～5月30日(日)



墨のみで擬人化した動物や人々の姿を12-13世紀に描いた、日本絵画史上屈指の名品「鳥獣戯画」を展覧会史上初めて、通期で国宝4巻の全場面を展示。

## 特別展「京の国宝－守り伝える日本のたから－」

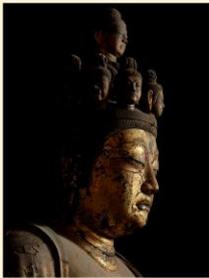
＜京都国立博物館＞令和3年7月24日(土)～9月12日(日)



いにしえより伝えられてきた絵画、書跡典籍および古文書、考古および歴史資料、彫刻、工芸の各分野を代表する京都ゆかりの国宝や皇室の至宝60件余りを中心に、約120件を展示。文化財の持つ不滅の魅力とその意義を紹介する。あわせて文化財を守り伝えてきた様々な取り組みも取り上げる。

## 特別展「国宝 聖林寺十一面観音－三輪山信仰のみほとけ」

＜東京国立博物館＞  
令和3年6月22日(火)～9月12日(日)  
＜奈良国立博物館＞  
令和4年2月5日(土)～3月27日(日)



国宝  
十一面観音菩薩立像  
(部分)  
奈良・聖林寺

三輪山をご神体とする大神神社境内の寺にあった仏像等を紹介。明治元年の神仏分離令によって神社を出てから約150年ぶりに同じ空間に並ぶ。日本の仏像の中で屈指の名宝である聖林寺十一面観音像が奈良県を出るのは初めてである。

## 特別展「聖徳太子と法隆寺」

＜奈良国立博物館＞令和3年4月27日(火)～6月20日(日)  
＜東京国立博物館＞令和3年7月13日(火)～9月5日(日)



国宝  
聖徳太子および侍者像のうち  
聖徳太子  
平安時代 保安2年(1121)  
奈良・法隆寺蔵  
奈良展、東京展ともに通期展示

令和3(2021)年は、聖徳太子の1400年遠忌という節目の年にあたる。これを記念して特別展「聖徳太子と法隆寺」を開催し、誰もが知る聖徳太子の偉業に今一度触れる機会を創出する。

本展覧会では、法隆寺の宝物から、太子の姿を偲ぶ肖像や威徳を讃える法会の品々、飛鳥・白鳳期の仏像等を紹介する。

太子の人となりや太子への篤い信仰を物語る品々が、1400年の時を超えて一堂に会するまたとない機会である。

## 北斎と江戸の文化 特別展「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」

＜東京都江戸東京博物館＞令和3年4月24日(土)～6月20日(日)



「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」  
葛飾北斎・画 天保2～4年(1831～33)頃  
東京都江戸東京博物館蔵

葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」全点とともに、北斎を乗り越えようとした歌川広重の作品もあわせて展示し、日本人が古くから親しみ、崇めてきた富士山をはじめとする風景画に、二人の絵師がどう挑んだのかを浮き彫りにする。

## 企画展「イサム・ノグチ 発見の道」 －日本の伝統と自然美に触れるプログラム－

＜東京都美術館＞令和3年4月24日(土)～8月29日(日)



「あかり」  
インスタレーション(イメージ)  
撮影:齋藤さだむ

20世紀を代表する芸術家イサム・ノグチ(1904-1988)の業績を振り返る展覧会。国内外から作品を集め大型彫刻を中心に約90件を展示する、ノグチの個展としては国内過去最大級の規模である。岐阜の伝統工芸である提灯づくりから想を得た「あかり」シリーズ約150灯が集まる空間を創出し、日本特有の和紙や竹の質感を生かしたやわらかな光が会場を彩るなどのインスタレーションも楽しめる。

※令和3年度採択事業のほか、令和3年度に実施される過年度採択事業も掲載しております。

# 主なラインナップ

## 特別展

### 「ファッション イン ジャパン 1945 - 2020 - 流行と社会」

< 島根県立石見美術館 >  
令和3年3月20日(土・祝)~5月16日(日)  
< 国立新美術館 >  
令和3年6月9日(水)~9月6日(月)



第二次世界大戦後から現在までを中心に、日本人の装いの文化を改めて紹介する展覧会。衣服を作り提供する者、着用し消費する者、その両方をつなぐメディア、この三者がからみあいながら展開した創造的ありようを、時代を追いながら社会的背景もふくめて考察。

## 隈研吾展

### 新しい公共性をつくるためのネコの5原則

< 東京国立近代美術館 > 令和3年6月18日(金)~9月26日(日)



The Exchange  
(オーストラリア)2019  
© Martin Mischkulnig

隈研吾は、日本の各時代・地方の文化的特性を巧みに組み合わせながら、その建築をつくりあげている。隈建築を知ることが日本の美意識や文化をより深く知ることに通じるという見地にたち、また日本ではまだ模型や写真が中心である建築展のレガシーとなることを目指し4Kや360度VRやプロジェクション・マッピングなど先端的な映像技術を多用したり、ポストコロナ以降の都市のあるべき姿を提示する展示を行うことを試みた。

日本の「衣食住」を通観し、  
自然と対話する

## 工芸ダイニング2021—工芸と食—

< 静岡県熱海市 > 令和3年11月21日(日)~25日(木)  
< 福岡県福岡市 > 令和4年2月5日(土)



重要無形文化財保持者をはじめとする工芸作家の作品を実際に「使って楽しむ」こと、ユネスコの無形文化遺産に登録された「和食—日本人の伝統的な食文化」を「食べて楽しむ」ことを体現する。

## メディアアンビショントウキョウ2021 (MAT2021)

< 六本木ヒルズ(東京都)ほか >  
令和3年4月27日(火)~5月23日(日)



シナスタジアX1 - 2.44 <Hazo> /  
シナスタジアラボ feat. evala (See by Your Ears)

Media Ambition Tokyo (MAT) は、これまで最先端のテクノロジーを実験的に都市に実装するリアルショーケースとして、過去8回開催。日々、進化していくテクノロジーとアート、映像、パフォーマンス、セミナー、ワークショップなどの積層的な展開を図る事により、多様なプログラムを内包するプラットフォームとして成長を続けている。

今年は六本木をメイン会場として最先端のテクノロジー×アートによる展示で、東京を文化で盛り上げる。

メディア芸術に描かれる  
自然に向き合う

## 札幌国際芸術祭を核に 地域の文化芸術資源を活用した 文化芸術振興及び観光・地域経済活性化事業

< モエレ沼公園、札幌市民交流プラザほか札幌市内各所 >  
令和3年4月~令和4年3月



札幌国際芸術祭を通じた現代アート、メディアアートの普及や、国指定重要文化財「札幌市資料館(旧札幌控訴院)」等を活用した情報発信、SIAFラボによるメディアアートを軸としたプロジェクト、札幌の特徴である雪や北方圏の文化を題材としたアートイベントの開催等を通じ、札幌独自の文化や都市の魅力を国内外に広く発信するとともに、次回芸術祭開催を見据えた人材育成を行う。

# 主なラインナップ

## 伝統芸能発見！ - Discover 伝統芸能 -

＜国立劇場・国立能楽堂・国立文楽劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館＞  
令和3年6月～12月



「Discover KABUKI」イメージ

訪日外国人、在日外国人、日本人の初心者の方々のために解説や多言語対応に配慮した「Discover KABUKI」「Discover NOH & KYOGEN」や「Discover BUNRAKU」に加え、令和3年度は「Discover 日本舞踊」「Discover 邦楽」など、新規に対象分野を広げて提供する。

## 「竜宮 りゆうぐう」～亀の姫と季(とき)の庭～

＜国立劇場(東京都)＞令和3年7月24日(土)～27日(火)



「竜宮 りゆうぐう」  
第1幕より  
(撮影:鹿摩隆司)

日本の御伽草子「浦島太郎」を基とした新作バレエを新国立劇場バレエ団が令和2年7月に世界初演。竜宮城に美しい四季の部屋があることや、玉手箱を開けて老人になった太郎が鶴になり、亀姫とともに夫婦明神となり長寿を願う鶴亀伝説に繋がるなど、よく知られているおとぎ話とは一味違うストーリーが幻想的な海と空を舞台に描かれる。

## 子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ 「Super Angels スーパーエンジェル」

＜国立劇場(東京都)＞令和3年8月21日(土)・22日(日)



オルタ3 (Supported by mixi, inc.)

新国立劇場オペラ芸術監督・大野和士が総合プロデュース、自ら指揮し、様々なジャンルで幅広く活躍する作家・島田雅彦の台本、初音ミクオペラで海外からも注目を集める渋谷慶一郎の作曲により、これまでにない新しいオペラ作品を創出、AI(人工生命搭載アンドロイド「オルタ3」と少年の友情が自然への回帰の意識を呼び覚まし、新たな未来への扉を開く物語を展開する。

## 大阪文化芸術フェス事業

＜万博記念公園ほか府内各所＞令和3年10月10日～令和3年11月中旬



大阪が誇る上方歌舞伎をはじめとする多彩で豊かな文化芸術や世界遺産等の文化財の魅力を広く国内外に発信し、インバウンドも含めた多くの観光客を呼び込むことで、国際エンターテインメント都市の実現を目指すとともに、大阪・関西万博につなげていく。

## 日本人と自然

### 「春夏秋冬」「草木成仏」「花鳥風月」

＜国立能楽堂＞令和3年4月～6月



能「熊野 村雨留」  
観世鏡之丞

国立能楽堂の4～6月の公演は「月間特集 日本人と自然」として、4月〈春夏秋冬〉、5月〈草木成仏〉、6月〈花鳥風月〉、とそれぞれの月にテーマを据え、ゆかりの能・狂言の作品を集中的に上演する。能楽における日本人と自然をテーマとした特別展を同時開催。

## 寄席「笑楽座」2021

＜宮城県仙台市 ほか＞令和3年5月～令和4年3月



令和3年度は、寺社や東京タワー、博物館などのユニークベニューにおける舞台公演を企画実施するとともに、新たな映像配信技術「ビジュアルエンターテインメント」を用いることで国内外へのWEB配信を行い、コロナ禍の地方公演のやり方を模索・開拓していく。公演と中継技術を融合し、WEB配信用の動画でありながら実演らしさ、ライブ感を醸成する取り組みを目指す。

## 伝統芸能にみる「日本人と自然」

～ 伝統芸能の重層性と日本人の美意識と自然観を体感する～

＜国立劇場・国立能楽堂・国立文楽劇場・国立演芸場・  
伝統芸能情報館＞令和3年4月～令和4年3月



「舞踊」「邦楽」「雅楽」「声明」「民俗芸能」といった、国指定重要無形文化財などに指定され伝承されてきた日本の代表的な伝統芸能に若手から人間国宝が出演。解説書付きの公演や、古典と現代のコラボレーションによる新作として古典の伝承のみならず、新たな観客層の新規開拓や、古典芸能をベースに新たな表現の可能性を探る企画など幅広く上演する。

※令和3年度採択事業のほか、令和3年度に実施される過年度採択事業も掲載しております。

自然にちなんだ伝統芸能、  
自然との関わりを描いた現代舞台芸術を観る

# 主なラインナップ

## アース・セレブレーションを核とした佐渡の国際的フェスティバル展開事業

＜新潟県佐渡市＞令和3年4月～令和4年3月

島の豊かな自然の中で多様な文化を交錯させ、新しい地球文化を創造しようと毎年開催している「アース・セレブレーション」。

本事業では、国内でも歴史ある国際野外フェスティバルが核となり「さどの島銀河芸術祭」をはじめとする「佐渡固有の文化活用事業」主体者が連携し、全島を舞台にした国際的フェスティバルを展開する。



アース・セレブレーション実行委員会

自然の中で文化を味わう

## 神々の集う国「出雲」体験フェスタ ～日本博in出雲～

＜島根県出雲市＞令和3年4月～令和4年3月



出雲神楽／大土地神楽保存会神楽方

出雲の豊かな自然・歴史・文化を活かし、中世末から近世初期にかけて確立され脈々と受け継がれてきた「出雲神楽」、数々の有形無形の文化財で構成される「日本遺産 日が沈む聖地出雲」、日本最古の歴史書に天日隅宮(あめのひすみのみや)と記された「出雲大社」、「出雲発祥とされる様々な文化(ぜんざい、日本酒など)」を4本柱とした様々なコンテンツを同時に展開し、「出雲の自然・歴史・文化」と「日本の美」を、出雲を訪れた人々にまちあるき・市内周遊を通して体感いただくとともに様々なコンテンツを映像化し、ウェブサイト・SNSを通じて国内外に広く発信していく。

## 東北の6つの伝統的夏祭りが一体となった「東北絆まつり」による東北の復興、魅力発信プロジェクト～2020年を契機とした首都圏巡回プロモーション～

＜WEB、東京都＞令和3年4月～10月



「祭り」は、縄文の時代から日本人が持つ自然への祈りの精神等を表現したものであり、東北を代表する「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」も、東北の各地域に伝わる伝説や言い伝えをもとに、厄除けや五穀豊穡などの願いを込めて始まったと言われていて、人々の生活や想いに根付く伝統的な文化である。

東日本大震災を機に鎮魂と復興を願い六つの祭りが連動・一体化し始まった「東北絆まつり」を活用し、世界から注目を集める復興五輪を契機として、首都圏会場にて巡回パフォーマンスを実施。

被災地復興

## 東北・新潟の復興と伝統文化の魅力を体験できる「東北ハウス」事業

＜アキバ・スクエア(東京都)＞令和3年7月22日(木)～8月7日(土)  
＜WEB＞令和3年8月24日(火)～令和4年1月24日(月)

「東北ハウス」は、東日本大震災の発生から10年の節目に、「世界から寄せられた支援に対する感謝の気持ち」を伝え、「復興に向けて着実に歩んでいる元気で安心な東北の姿」、「日本の他地域では味わえない観光地“東北・新潟”の魅力」を世界中の皆さんに体験していただく、期間限定の情報発信拠点である。

「感謝」、「交流」、「明日へ」の3つのコンセプトで復興支援への感謝の気持ちと東北・新潟の魅力を世界へ発信する。



東北・新潟の魅力を発信する映像コンテンツ  
「The View from TOHOKU & NIIGATA」

※令和3年度採択事業のほか、令和3年度に実施される過年度採択事業も掲載しております。

# 主なラインナップ

## 障害者の文化芸術創造拠点 形成プロジェクト

<国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)  
(大阪府)ほか> 通年

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)の完全バリアフリーの環境と誰もが文化芸術活動を楽しめるノウハウ、障害者の国際交流ネットワークを最大限に活用し、誰もが文化芸術を楽しめる環境の創出と開発整備の推進をプロジェクトを通じて実現する。日本・アジアで活躍する振付家、プロのダンサーと障害のあるダンサーが協働し、わが国の自然や伝統文化等をベースにした魅力ある大型ダンスプロジェクトを実施することによって誘客力のある障害者の国際文化芸術拠点形成と共生社会の実現へとつなげる。



DANCE DRAMA  
プロモーション写真  
撮影 富田了平

## 共生社会・多文化共生と自然

## 日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル

<東北ブロック:岩手県、関東・甲信ブロック:埼玉県、近畿ブロック:滋賀県>  
令和3年4月1日(木)~令和4年3月31日(木)



石見神楽(いわみ福祉社会芸能クラブ)

障害者の芸術表現、そして障害者がそれぞれの特性とともに生きる様には、今なお天然の色彩、音の風情を慈しむ心が強くにじみ出ている。これらの日本独自の精神文化として障害者の視点で「日本人の美」を国内外に発信する全国規模のプロジェクト。2020年2月に実施したランドオープニングを皮切りに、全国7箇所で開催・舞台芸術等の様々な分野を発信するフェスティバルでは障害当事者団体や福祉の職能団体等からなる全国50万人と地方自治体等と連携を図りつつ、独自の文化を持つ地方からその魅力を発信する。

## 日本博特別企画「アイヌ文化フェスティバル」

<札幌文化芸術劇場 hitaru(北海道)> 令和3年9月18日(土)

### イランカラブテ!

アイヌ文化フェスティバルでは、全国からアイヌの伝承者が参集し、アイヌの伝統楽器であるムックリの演奏やアイヌの伝統舞踊を披露する。また、音楽公演として、アイヌのミュージシャンがアイヌの伝統を踏まえつつ現代音楽を取り入れて作った斬新なサウンドでアイヌ音楽の魅力を発信する。さらに、ミュージカル公演でアイヌと和人が共生できる道を探った松浦武四郎とアイヌの交わりを伝える。ステージ公演終了後、ダイジェスト版をインターネットにより配信することにより、より多くの方にアイヌ文化に触れていただく機会を提供する。



アイヌ伝統舞踊(鶴の舞)

# 採択事業一覧

令和3年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名
1	公益財団法人アイヌ民族文化財団	日本博特別企画「アイヌ文化フェスティバル」
2	全国近代化遺産活用連絡協議会	日本の近代化遺産 ～自然の力と美を引き出す技～
3	株式会社日本国際放送（環境省および独立行政法人国立科学博物館との共同事業）	企画展「国立公園 ―その自然には、物語がある―」連携事業
4	白老文化観光推進実行委員会	（仮称）白老文化芸術交流
5	三陸国際芸術推進委員会	三陸国際芸術祭「縦」（仮称）
6	ビッグ・アイ共創機構（国際障害者交流センター）	障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト
7	公益社団法人能楽協会	「東京2020オリンピック・パラリンピック能楽祭」及び「能楽を旅する」デジタルコンテンツ企画（仮称）
8	公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会	日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト
9	株式会社 朝日新聞社	「本城直季 (un)real utopia」東京会場開催と日本の自然・被災地の現状を伝える関連プロジェクト
10	日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルに向けた全国会議	日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル
11	公益社団法人 落語芸術協会	寄席「笑楽座」2021
12	株式会社エヌケーピー	「日本博 × CLUB RED」
13	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	特別展「国宝 聖林寺十一面観音—三輪山信仰のみほとけ」
14	独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）	伝統芸能にみる「日本人と自然」 —伝統芸能の重層性と日本人の美意識と自然観を体感する—
15	独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）	伝統芸能発見！ —Discover 伝統芸能—
16	認定NPO法人趣都金澤	GO FOR KOGE! - ころと技術の時代のアートプロジェクト（仮称）
17	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館	北斎と江戸の文化
18	独立行政法人日本芸術文化振興会	ユネスコ無形文化遺産 特別展「体感！日本の伝統芸能—歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界」
19	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館	隈研吾展 新しい公共性をつくるためのネコの5原則
20	独立行政法人国立美術館 国立新美術館	アニメ・特撮文化と日本の自然観（仮称）
21	株式会社パシフィックボイス	ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2021
22	独立行政法人国立科学博物館	企画展「日本の生物多様性の解明と保全」（仮称）
23	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館	特別展「縄文2021 —東京に生きた縄文人—」
24	公益財団法人 新国立劇場運営財団	子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ「Super Angels スーパーエンジェル」
25	株式会社 朝日新聞社	企画展「イサム・ノグチ 発見の道」—日本の伝統と自然美に触れるプログラム—
26	株式会社NHKプロモーション	日本の技EXPO～文化財を守る自然の素材と匠の技術～
27	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	春夏秋冬（フォーシーズンズ）（仮称）
28	一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構	令和3年度文産官プラットフォームによるファッション文化創造プロジェクト （連携：経済産業省）
29	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	親と子のギャラリー「まるごと体験！日本の文化 リターンズ」
30	公益社団法人 大日本弓馬会	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 安全祈願奉納流鏝馬
31	一般社団法人 アート東京	自然に影響を受けた日本人の美with Art Fair Tokyo 2022
32	株式会社 朝日新聞社	「GENKYO 横尾忠則」展の関連プロジェクト「横尾忠則と滝シリーズ、With Corona体験展示」
33	株式会社読売新聞東京本社	「観客村」連携特別展示 陶板芸術「風神雷神図屏風」で魅せる日本の美
34	株式会社 朝日新聞社	寿ぎのきもの ジャパニーズ・ウェディング展 —日本の婚礼衣装と伝統的婚礼文化からみる日本人の自然感—
35	公益財団法人岡田茂吉美術文化財団	「工藝ダイニング2021—工芸と食—」
36	宗像国際環境会議実行委員会	「神宿る島」国際文化芸術プロジェクト
37	国際芸術祭BIWAKOピエンナーレ実行委員会	国際芸術祭BIWAKOピエンナーレ2022に向けて
38	独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館	特別展「京の国宝—守り伝える日本のたから—」
39	独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館	特別展「国宝 聖林寺十一面観音—三輪山信仰のみほとけ」
40	奈良県	古代から令和の時代までつながる文化を巡る奈良博覧プロジェクトⅢ 世界遺産を巡る奈良博覧プロジェクト + 発掘現場・修理現場の公開
41	出雲市	神々の集う国「出雲」体験フェスタ ～日本博in 出雲～
42	せとうちパレット日本博実行委員会	「響きあう、人・海・芸術～せとうち交響」プロジェクト
43	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	特別展「海幸山幸」関連特別公開
44	公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団	琉球王朝の美～沖縄伝統芸能、その継承と発信～

令和3年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（イノベーション型プロジェクト）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名
1	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	東京2020 NIPPONフェスティバル「しあわせはこぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」
2	世界遺産リレー催事実行委員会	世界遺産リレー催事による日本文化発信プロジェクト
3	幸せ出ずる国いわて実行委員会	ファンタスティックいわて—復興フェスティバル
4	一般社団法人日本花火推進協会	みんなの花火～誰もがつながり楽しめる花火～
5	2020東京オリンピック・パラリンピック福島大会前夜祭実行委員会	2020東京オリンピック・パラリンピック福島大会前日祭（仮称）
6	一般社団法人 アート東京	“夢の時間” 伝統芸能とのコラボレーションによる教育・地域文化への貢献プロジェクト
7	まちづくり鹿嶋株式会社	エキサイト ‘21
8	田んぼアート米づくり体験事業推進協議会	田んぼアートプロジェクト（仮称）※正式名称は5月下旬発表予定
9	株式会社W TOKYO	「バーチャルTGC×文化財」最先端テクノロジーを活用した新しい魅力発信
10	公益財団法人竹中大工道具館	国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展 「木組、分解してみました—自然から学んだ匠の心（仮称）」
11	東映株式会社 （観世文庫・観世能楽堂との共同企画）	神・鬼・麗 三大能∞2020
12	株式会社日本経済新聞社	THE HEROES 刀剣×浮世絵—武者たちの物語
13	公益社団法人 日本将棋連盟	国際将棋フェスティバル2021
14	公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	東京2020 NIPPONフェスティバル ONE -Our New Episode-
15	凸版印刷株式会社	生誕260年記念企画 特別展「北斎づくし」イマーシブシアター
16	東北絆まつり実行委員会	東北の6つの伝統的夏祭りが一体となった「東北絆まつり」による東北の復興、魅力発信プロジェクト～2020年を契機とした首都圏巡回プロモーション～
17	東北・新潟の情報発信拠点事業「東北ハウス」実行委員会	東北・新潟の復興と伝統文化の魅力を体験できる「東北ハウス」事業
18	一般社団法人メディアアンビショントウキョウ	メディアアンビショントウキョウ2021（MAT2021）
19	一般社団法人東京ビエンナーレ	東京ビエンナーレ2020/2021
20	公益財団法人角川文化振興財団	日本とバチカン文化交流プロジェクト-長崎の自然と文化体験コンテンツの創成
21	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館	ないじえる芸術共創ラボ 古N典ポラリーアート！ IN NIPPON PART II
22	国立大学法人 東京芸術大学	東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト2021
23	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト VOL. 5
24	「神宿る島」 宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会	自然への信仰と日本文化の形成を訪ねて ～「神宿る島」沖ノ島を中心とした広域連携企画～
25	株式会社NHKプロモーション	ファーマーズ&キッズフェスタ2021×浮世絵～浮世絵が語る日本の「食文化」と「自然」～ （仮称）
26	株式会社 月虹舎	日本の色のルーツについて、染織史と古代染織技法を研究・新たな作品制作・古代染織研究成果の映像作品化をし、伝統染織技法を次世代へ継承するプロジェクト（仮称）
27	神奈川県	ともに生きる社会かながわ「カガヤク ミライ ガ ミエル／カナガワ2021」
28	万葉大茶会実行委員会2021	令和の万葉大茶会2021高岡大会
29	株式会社オディブランニング	富士山をはじめ富士吉田の文化資源を活かした芸術による情報発信事業
30	株式会社GO AHEAD	北斎花火&歌舞伎花火 日本の伝統文化を世界にPRする山梨県市川三郷町との連携プロジェクト
31	株式会社 山本寛齋事務所	日本元気プロジェクト2021 世界遺産ランウェイ in 富士山（仮称）
32	エイベックス・エンタテインメント株式会社	NINJA PROJECT
33	大塚オーミ陶業株式会社	やきもので繋ぐJOMON×未来 —多彩な表現展2021—（仮）
34	宗教法人 延暦寺	伝教大師1200年大遠忌 最澄と比叡山
35	一般社団法人KYOTOGRAPHIE	KYOTOGRAPHIE京都国際写真祭2021
36	京都市	“共創”文化が繋ぐ伝統産業プロジェクト（仮称）
37	京都市	「KYOTO EXPERIMENTミーティングポイント」プロジェクト～京都の文化資源を活かした交流の広場
38	関西コレクション実行委員会	KANSAI COLLECTION 2021 AUTUMN&WINTER
39	株式会社アートローク	国際芸術祭（仮称）
40	株式会社読売広告社	「熊本城下町復興周遊プロジェクト」
41	株式会社よしもとエンタテインメント沖縄	やんばるアートフェスティバル2021-2022

令和3年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（文化資源活用推進事業）採択一覧

No.	都道府県	補助事業者名	事業名
1	北海道	札幌市	パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）開催事業
2		札幌市	札幌国際芸術祭を核に地域の文化芸術資源を活用した文化芸術振興及び観光・地域経済活性化事業
3	群馬県	群馬県	群馬県戦略的文化芸術創造事業
4	千葉県	市原市	「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス」を核としたアートによるまちづくり
5	神奈川県	横浜市	創造的イルミネーション事業
6		横須賀市	「文化財×自然×文化芸術」推進事業日本遺産等を活用した旧軍港都市・横須賀東海岸
7		伊勢原市	霊峰大山で出会う日本の伝統・江戸の粋
8	新潟県	新潟県	新潟発！縄文からつづく文化の魅力体験・発信事業
9	富山県	富山県	利賀から世界へ・世界から利賀へ ～世界的舞台芸術拠点形成事業
10	石川県	石川県	いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭開催事業
11	長野県	大町市	「北アルプス国際芸術祭」を核としたアートによる持続可能なまちづくり
12	愛知県	名古屋市	名古屋   台地の縁(へり)とHeritageをつなぐ1万年アートプロジェクト
13	京都府	京都府	京都府域展開アートプロジェクト「もうひとつの京都」
14		京都市	京都の美・日本の美・百花爛漫 ～日本の博覧会150年紀～
15		京都市	京都の文化・観光資源を活用したメディア芸術・コンテンツ産業振興事業
16		京都市	シルクロードいま昔
17	大阪府	大阪府	「大阪文化芸術フェス」事業
18		堺市	ものの始まりなんでも堺・文化芸術創造都市プロジェクト
19	島根県	松江市	日本の美 城下町文化 と 日本の面影 体感プロジェクト
20	山口県	山口市	山口ゆめ回廊博覧会を契機とした「アートで奏でる大内文化」交流創造・発信事業
21	徳島県	徳島県	アニメの聖地とくしま！ニューノーマル対応「マチ★アソビ」による地域活性化事業
22	福岡県	北九州市	東アジア文化都市北九州2020▶21推進事業
23	大分県	大分県	創造県おおい国際発信事業

令和3年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業  
「国際的的文化フェスティバル展開推進事業（長期開催型）」採択一覧

No.	組織・団体名	事業名
1	十日町市	「大地の芸術祭の里」ブランディング強化による国際的価値創造事業
2	アース・セレブレーション実行委員会	アース・セレブレーションを核とした佐渡の国際的フェスティバル展開事業

令和3年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 採択一覧

No.	都道府県名	市町村名	事業名
1	岩手県	花巻市	東北地方の災害ゆかりの文化資産を活用した企画展 「ブドリのイーハトーブ災害ノオト」展覧会事業
2	山形県	山形市	プライム企画展「紅と藍 ーくらしを彩るー」 Golden Red from Safflower and Japan Blue from Indigo plant
3	茨城県	土浦市	土浦市立博物館第43回特別展「八田知家と名門常陸小田氏」
4		水戸市	茨城ゆかりの文化資産を活用した「華麗なる明治 ー宮廷文化のエッセンスー」展覧会事業 (令和3年度特別展)
5		筑西市	筑西市ゆかりの文化資産を活用した「板谷波山」展覧会事業
6	栃木県	益子町	「バーナード・リーチ ー100年の奇跡ー」展覧会開催事業
7		足利市	足利市制100周年記念展 足利ゆかりの名宝展
8	群馬県	高崎市	「新・すばらしき群馬のはにわ」展覧会開催事業
9	神奈川県	横浜市	神奈川県立歴史博物館特別展「開基500年記念 早雲寺ー戦国大名北条氏の遺産と系譜ー」
10		小田原市	春日神霊の旅展覧会事業
11	新潟県	十日町市	新館オープン1周年記念・夏季特別展「形をうつすー文化財資料の新たな活用ー」開催事業
12	石川県	小松市	石川県ゆかりの文化資産を活用した 日本遺産関連特別展「未来への遺産 九谷が京焼に接すると・・・」(仮称) 展覧会事業
13		金沢市	企画展「加賀百万石 文武の誉れー歴史と継承ー」
14	福井県	越前町	福井県陶芸館 開館50周年記念特別展「ECHIZEN BRAND」
15	長野県	飯田市	特別展「菱田春草ー没後110年・故郷につどう珠玉の名画ー」開催事業
16	岐阜県	岐阜市	特別展「波濤を越えてー鑑真和上と美濃の僧・栄叡ー」
17	静岡県	浜松市	浜松ゆかりの文化資産を活用した「遠州の民藝」展開催事業
18	愛知県	瀬戸市	中国陶磁史の概観と唐物への憧れに始まる日本陶磁の展開プロジェクト(仮称)
19		名古屋市	名古屋ゆかりの文化資産を活用した特別展「大雅と蕪村」開催事業
20	三重県	桑名市	桑名市博物館創設50年・本多忠勝桑名入封420年特別企画展「本多忠勝と桑名」(仮)
21	京都府	京都市	丹後地域ゆかりの文化資産を活用した 「“玉の輿” 大名の栄光と苦悩ー徳川綱吉・桂昌院と宮津藩本庄松平家」展覧会事業
22		亀岡市	丹波地域ゆかりの歴史文化資源を世界に発信事業 ー丹波亀山城と円山応挙を題材としたデジタル展覧会ー
23	大阪府	大阪市	大阪を中心とする関西地域ゆかりの文化資産を活用した「聖徳太子」展覧会事業
24	大分県	大分市	生誕110年記念 糸園和三郎展 ～魂の祈り、沈黙のメッセージ～
25	宮崎県	都城市	開館40周年記念特別展「雪舟から都城(仮)」
26		都城市	都城島津伝承館特別展「都城県置県150年記念 都城県誕生～近代都城の出発～」

※日本博各事業の開催時期については順次公表していきます。

※この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を受けて、各事業において、個別に臨時休館や、中止・延期等の対応をおこなう可能性がありますので、各事業の公式サイト等で最新情報のご確認をお願いいたします。

#### 《画像使用上の注意》

※画像を使用される場合は、当該画像が掲載されている事業名、会期、会場名、展示品名・製作年・画像クレジットを必ず掲載してください。

※画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません。ご希望の場合は別途ご相談ください。

※WEBサイトに掲載する場合は、コピーガードを施してください。

主催・共催型プロジェクト、イノベーション型プロジェクト

<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp/info/index3.html>

文化資源活用推進事業

<https://www.shigen.bunka.go.jp/index.html>

国際的文化フェスティバル展開推進事業

[https://www.bunka.go.jp/shinsei\\_boshu/kobo/91999701.html](https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/91999701.html)

地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

[https://www.bunka.go.jp/shinsei\\_boshu/kobo/92802201.html](https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/92802201.html)

#### [お問い合わせ先]

●主なラインナップ内の画像使用について

●主催・共催型プロジェクト、イノベーション型プロジェクトについて  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
日本博事務局 渉外・広報チーム  
担当：小川、中野 03-3265-7411(代表)

●文化資源活用推進事業について

文化庁 地域文化創生本部 暮らしの文化・アートグループ  
担当：堤、藤井 075-330-6737 (直通)

●国際的文化フェスティバル展開推進事業について

文化庁参事官(芸術文化担当)付 新文化芸術創造活動推進室  
国際発信拠点担当 03-5253-4111 (内線 2836)

●地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業について

文化庁文化財第一課 美術工芸品公開促進係 03-6734-4786 (直通)